

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人こんぼす 通所支援事業所まっぷ		
○保護者評価実施期間	令和7年11月14日		令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 48
○従業者評価実施期間	令和7年11月14日		令和7年12月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月8日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもにわかりやすい構造化された環境になっている。	・子どもが安心して学びやすい構造化の設定 ・活動の見通しと境界(時間や空間)の提示 ・子どもの特性や相性、社会性の段階に応じたクラス編成 ・カームダウンエリアの設定 ・余暇セッションでの社会性やコミュニケーションの機会設定など	・定期的な構造化の見直しと環境調整とスタッフ間の報告、連絡、相談と情報共有 ・定期的な外部からのコンサルテーションの実施
2	・特性に応じた個別支援計画や定期的なモニタリングミーティングが行っている。	・発達段階と特性に応じた課題設定 ・アセスメントから始めて、本人のイメージを尊重し、気づきや学びを深める。 ・自立に向けて必要なスキルを積み重ね、生活や地域に般化していく。	・定期的な支援の質や職員の質を高めるため職場研修やセミナー、コンサル、外部研修などで学びを深める。
3	・保護者様との定期的な面談や関係機関との協働などで情報交換が行えている。	・保護者や学校、その他利用されている事業所などと連携する上で、モニタリングミーティングや担当者会議、必要に応じてケース会議等で事前の合意形成を行い支援に取り組んでいる。 ・保育所等訪問との情報共有、移行支援シートを活用し、情報共有を行っている。	今後も保護者や学校など、関係機関との連携を図っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会や研修での保護者同士の交流の機会が少ない。	・去年のご意見も反映して、保護者会の回数を増やしたり、まっぷをご利用していた卒業生の保護者様にお話を聞く機会を設定しました。 ・保護者会の開催日の時間について検討が必要。	・働いている保護者様の交流の時間や場所、参加形態(ズーム等)の工夫調整の検討。 ・まっぷ卒業後の保護者様同士の交流の機会の検討。
2	・非常時等の対応や事業所の環境、体制整備等、支援内容以外の情報周知の方法の改善の余地がある。	・契約時に行っているが定期的な周知が不足していることが要因。	・広報誌、SNS等を活用し、定期的に情報を提供していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 NPO法人こんばす 通所支援事業所まっぴ

公表日 令和8年1月22日

利用児童数 69

回収数 48

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	41	5	1	1	・もう少し動き回れるスペースがあれば子どもが喜ぶかと思えます ・個別スペースは有り難いです ・児童発達支援の時と似た環境であれば十分な環境なのではないかと思えます (放デイに上がったあとの部屋で過ごしているのか具体的にきいたことが無いので^^;)	・子どもの活動エリアや目的などホームページや見学などを通じて、説明する機会の設定を行ってまいります。 ・児童発達から放課後等デイサービスに移行した際に活動エリアについて丁寧に説明して参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	42	2	0	4	・自分の子供に対しては十分対応してもらっていると感じているが、職員数とかまでは把握していないので「わからない」と回答しました。 ・多いくらいだなと思えます	・ホームページや広報誌などで保護者様にわかりやすく情報を公開してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	45	1	0	2	・素晴らしい構造化です ・児童発達支援の時と似た環境であれば十分な環境なのではないかと思えます (放デイに上がったあとの部屋で過ごしているのか具体的にきいたことが無いので^^;)	・子どもが自立して学びやすい環境設定を行っています。 ・子どもの体調や特性に応じて個別に環境調整や情報伝達の配慮を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	47	0	1	0		・今後も環境を整えて参ります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	47	0	0	1	・モニタリングのたびに、理解していたことを実感します ・子供の帰ってきた顔で解る	・子どもの特性に応じ、スタッフ間とも共同をしながら、さらに専門性を高めていきたいと思えます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	45	1	0	2		・公表している支援プログラムを合わせてスタッフ間で情報共有をしていきたいと参ります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	47	0	0	1	・しっかりと説明をさせていただいております。 ・ニーズを支援計画にいつも反映してくださり感謝しています	・モニタリング、ミーティングの際に保護者様と本人のニーズに合わせてこれからも個別支援計画の作成に取り組んで参ります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	45	1	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	47	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	47	0	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	24	3	5	16	・よかセッションなど、社会勉強させてもらっております それも含まれるならハイです ・我が子たちに難しくとも提案してくださりありがたいです	・今後も個別支援計画に沿った余暇セッションの計画も立てていければと思います。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	46	0	0	2			
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	48	0	0	0			

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	46	0	0	2	・受講させていただきました ありがとうございます ただ私には難しかったです ・平日でなかなか参加出来ず申し訳ないです ・受講してもらいました、私には難しかったです	・今後も家族支援プログラムの情報についてホームページや広報誌、プログラムのお知らせなどで情報提供していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	46	1	0	1	・連絡帳に記入できない日もあり申し訳ありません	・連絡帳に記載が難しい際は、ラインや電話でもお話を聞くことができますので活用してください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	46		0	1	・いつも、ありがとうございます 他の事業所を知っておりますので、すごく良いアドバイス、温かい言葉をいただいております。母親の私の心がとても助かっています。 ・支援の方向性が同じでとても安心します こどもたちの相談に乗っていただけてありがたいです	・保護者様のニーズや困り事に対して、モニタリングミーティングや別途相談する機会を設定しながら支援を行っています。ご希望のある際はお知らせください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	46	0	0	2	・感謝しかないです	・こちらも保護者様に支援をご協力いただき、ありがとうございます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	36	2	2	7	・なかなか参加出来ず申し訳ありません	・保護会の開催時間を検討させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	47	0	0	1	・すぐに相談にのっていただけています	・保護者様からご相談して頂けることでスタッフも子どもさんのことを知ることができ支援につなげることができています。ご相談を頂き、ありがとうございます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44	0	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	47	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	46	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	2	0	11	・コンビニも飲食店もそうですが、さすがに必要な世の中になってしまった気がします ・訓練等されているのだろうとは思いますが、具体的なところはよく分かりません	・さすまたのご提案、ありがとうございます。スタッフ間で検討させていただきます。 ・半年に1度定期的に避難訓練を実施しています。避難後の送迎についても、保護者との協働を検討して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	3	0	13	・訓練等されているのだろうとは思いますが、具体的なところはよく分かりません	・子どもの特性に応じた手立てやサポートを活用しながら、避難訓練を実施し、記録しております。支援計画のモニタリングの際にどのような訓練をしているのかご質問等ありましたらお声掛けください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	43	0	0	5	・訓練等されているのだろうとは思いますが、具体的なところはよく分かりません	・支援計画のモニタリングの際にどのような訓練をしているのかご質問等ありましたらお声掛けください。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35	1	0	12	・事故等が起きた事がないので「わからない」としました。そのような際には、速やかに連絡しますと説明を受けています。 ・事故等の経験がないのでわかりません	・毎月スタッフ間の話し合いで、ヒヤリハットを確認して情報共有をしています。事故が起きた場合は速やかにご連絡、対応させていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	47	1	0	0	・とても楽しんで通所しています	・今後も子どもが楽しみながら安心して活動できるよう環境調整や支援を目指して参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	43	5	0	0	・お年頃でもあり、現在、子供と、先生と、話し合い中です。 ・いつもありがとうございます	・保護者様と協働しながら本人にあった支援の提案をさせて頂ければと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	46	1	0	1	・大変満足しております。 ・いつも困り事など速やかに対応してくださり助かっています。子供も毎週楽しんで通っています。ありがとうございます。	・保護者様と協働して頂いているおかげで、子どもたちも毎週楽しんで通うことができていると思います。ご協力ありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		NPO法人こんばす 通所支援事業所まっぷ		公表日 令和8年1月22日			
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・物理的構造化がしっかりしている ・気付きに合わせたエリアの設定がされている
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6	0	・スタッフの配置を調整するために、ミーティングを実施している ・利用前に都度スタッフ間で気をつける点などミーティングをしている ・職員が休みが重なった場合、フォローしても難しいこともある	・職員の休みが重なった場合は、どのスタッフが動けるのかを確認、調整をしていく。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	0	・構造化で場所がわかりやすくなっている	子どもの気づきが広がるような構造化を意識していく。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	0	・毎日掃除や消毒がされている	・今後も引き続き継続して取り組んでいく。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・上司と振り返りができる環境になっている	・今後も子どもの目標設定に合わせた振り返りを行っていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・ベアトレなど行っている	・心理スタッフと連携を取りながら、ベアトレや保護者会の開催を検討していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・運営会議等で職員の意見が題材に上がる	・引き続き運営会議等で職員の意見等を把握し、業務改善につなげていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・定期的に研修をする機会が作られている	・継続してとりくみ、職員の支援の質を上げていく。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・特性や年齢に合わせた計画をたてることができている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・保護者の意見なども多く取り入れている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・周知する時間がある		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・情報を共有する時間がある		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・担当以外の子でも気づいたことは伝え合う環境になっている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・共有しながら作成している		

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・毎週変化を入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・個別に必要な支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・動きを確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・基本はできているが、送迎や引き継ぎの時間によっては、退勤時間をすぎることがあり、時間や振り返りを行うタイミングの調整が必要だと思う ・気になったところを共通認識したり、伝え合っている	・その日に支援の振り返りができない時は、次の日の朝にするなど、スタッフ間で連携を図っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・記録をとるようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・必要に応じて、自分で判断できるように問いかけることを意識している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・必要に応じて、自分で判断できるように問いかけることを意識している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・個別に必要なに応じて連携会議等を行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	・卒園後は、情報共有する機会がほとんどない。生活の場所が小学校に変わっているためどのように、情報共有や相互理解を努めれば良いのかイメージが難しい。	・市の連携会議があったときに情報交換ができるように取り組んでいく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	・学校で行うことができていると思います。	・ご家庭や学校で機会があるため、現在は機会を作らず予定はない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		・地域の行事に参加することがあるが、事業所で招待する等の行事開催は行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		・スタッフ間で情報共有をしながら対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		・支援中に起きたヒヤリハットをスタッフ間で共有し、再発防止に向けて取り組んでいく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		・職員研修を開催し、虐待防止を心掛けるようにスタッフ間で意識を高めていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			